

「カット」

北海道大学構内のポプラ並木

北海道支所の 生い立ち

地質調査所北海道支所の開設10周年を記念して 支所がいままでに行ってきた調査研究の概要ならびに 北海道の地質と地下資源についてのアウトラインを述べてみよう。

北海道支所の生い立ち

地質調査所北海道支所が札幌市に開設されたのは 昭和23年8月1日で 工業技術庁（現在の工業技術院）の発足と日と同じくしており 開設以来今日までに10年の歳月を重ねている。

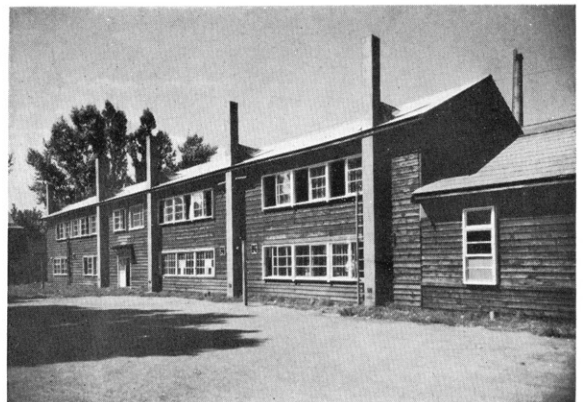
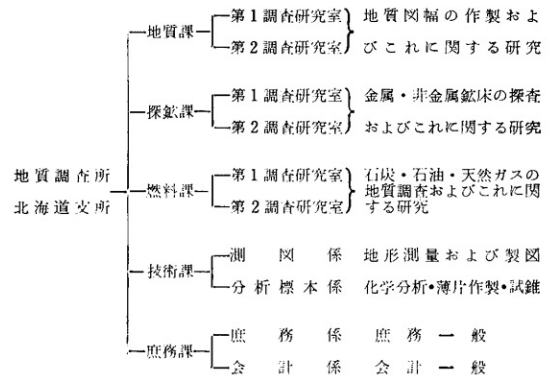
当時は荒廃した戦後の経済を急速に復興させるために 鉄・石炭等の第1次産業の振興が強く叫ばれ それに関連して地下資源の開発が緊急課題として取りあげられたが とくに北海道は 燃料・鉱物資源のホープとして大きくクローズアップされてきた。

このような国内状況に即応して いままではとかく等閑に付されていた北海道の地質調査を積極化するために 既存の北海道工業試験場の地質調査部門が商工省へ移管され さらに人員と設備を増強し 地質調査所北海道支所として開設されるに至った。

開設以来の10年間を顧みると 人員や予算は年々除々に増大され また設備も次第に改善されて 比較的順調な発展過程をたどり 調査業務も年をおって増加するようになってきた。 それに加えて昭和26年には 北海道開発庁が新設され 同庁で企画した北海道地下資源開発計画調査費が 新たに配分されるようになってから 業務量は倍加するようになった。 このようにして支所は過去10年間にわたって 北海道の地質調査および地下資源の開発に対して 国立機関としての責務を遂行している。

しかしながら 人員と予算は制約されているので 地質調査所北海道支所の各部門が まがりなりにも今日まで業務を遂行することができたのは関係の官庁・会社・団体 とくに北海道開発庁・北海道大学・札幌通商産業局および北海道立地下資源調査所の協力によるところが多い。 ここに銘記して深く謝意を表わす次第である。

開設以来10年の間には 課・係の増設が行われたが 支所の現在の機構および業務分担は次のとおりである。



北海道支所庁舎